

眠 ね お ん 音

季刊 [Neon] Vol.48 2018 Winter

感性にふれる

CONTENTS

巻頭 目次

02 特集 信州・鹿教湯温泉

『三水館』を訪ねて

10 暗闇のソーシャルエンターテインメント

ダイアログ・イン・ザ・ダーク

12 「コラム」 ギャツベのはなし

13 「ねおんの視点」 活版印刷 ユートピアノ

16 カシミヤ 「宝石」と呼ばれる天然繊維。

18 自然の力で健康と美を手に入れる

発酵食のスヌメ

22 「石田屋」のオリジナル羽毛布団

「グース（ガチョウ）」or「アイダーダック」

あなたはどちらを選びますか？

24 編集後記

巻末 石田屋イベントスケジュール



眠音

ねおん

Vol. 48

季刊 [Neon]

2018 Winter

撮影 / 藤森祐治

『石田屋』の寝具で眠れる宿

信州・鹿教湯温泉『三水館』を訪ねて



緑豊かな里山に囲まれて、自然と一体化して佇む。

長野県上田市。その昔、鹿に化身した文殊菩薩が山中に湧く効能あらたかな出で湯の存在を教えたといえられる鹿教湯温泉。商店街から少し外れた、里山に囲まれ、小川のせせらぎの聞こえる静かな場所ので、木々や草花、まるで緑に包まれるように佇んでいるのが『三水館』です。

ご主人の滝沢津田夫さんが、東京でのサラリーマン勤めを辞め、父親の創業した宿を手伝うために長野県に帰ってきたのが27歳の頃。その後、32歳で結婚されてから、ともに宿を切り盛りする奥様の洋子さんと二人三脚で時を重ね、「まわりの自然が主役の、里山のこの場所に居させてもらう、住まわせてもらうという感じの、そんな飾らない素朴な宿」という理想を追い求めて約30年。

「いわゆる高級旅館のように緊張感のあることはできないので、とにかくお客様に心からリラックスしていただく。ただそれだけです」と語るご主人の謙虚で実直な人柄が滲み出る、押しつけることのない、まるで自然のようにやさしく柔らかな雰囲気がこの宿には溢れています。



a. 春から秋にかけて毎日手入れをする緑豊かな庭に囲まれた宿。季節ごとに様々な野花に彩られる。自然と見事に調和するその姿は絵画のように美しい。
b. 気になる温泉や宿があれば一緒に足を運ばれるという滝沢ご夫妻。c. 駐車場から玄関へとつながる長いアプローチ。歩きながら期待に胸が高鳴る。



いたるところで感じられる、温かく細やかなおもてなし。

古く大きな養蚕農家を解体し、その部材を使って建てられたという同館。障子戸から射し込む光が日本家屋独特の陰影の美を感じさせるエントランスを抜けると、土間を活かした薪ストーブのある天井の高い吹き抜けのギャラリーが。オーディオが置かれた広く開放的なラウンジでは、木工家・井崎正治さんの家具でゆったりと寛げ、また、同じく氏の絵画や木彫作品がゲストを非日常的な世界へと誘ってくれます。館内に用意された客室は全部で7つ。オーソドックスな和室のほか、アンティーク家具が配されたヨーロッパの古いホテルを思わせる洋室もあり、同行者やシチュエーションにあわせ、好みの部屋を選ぶことができます。

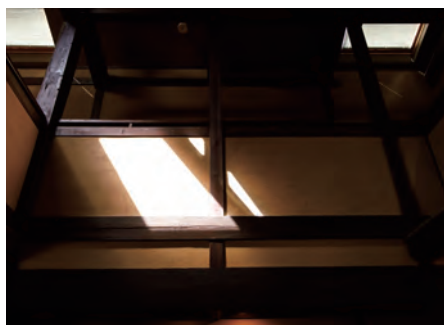
また、気になる温泉は無色透明の単純温泉。お風呂は男女で内湯・露天とも趣が異なり、夜8時に入れ替えもあるので両方を楽しむことが可能。さらに、地の旬の食材をふんだんに取り入れた田舎の家庭料理を意識した料理は、手作りの深い味わいがあり、身体に沁み込むようなおいしさがあると評判を呼んでいます。



a



b



a. ラウンジでは、愛知県で創作を行う井崎正治さんの木工家具や彫刻、絵画などの作品に触れることができる。b. どこから見ても手入れの行き届いた美しい庭を眺めることができる。c. 水につかると模様が表われる長野県で採石される「柴石」で作られた内湯。



c



百十年もの歴史を刻む蔵で、心から癒されるひとときを。

『石田屋』の寝具で眠れるのは、本館から渡り廊下でつながる「蔵」と呼ばれる部屋。その名の通り、もともとは長野県松本市にあった呉服商の蔵を移築したもので、その歴史は百十年以上の時を刻んでいるといえます。大きな梁に、重厚な扉、職人の技が冴える鬼瓦や欄間、潇洒につくられた床の間など、そのところどころに凝らされた意匠は、現代ではなかなか目にかれない見事なものばかり。1階の和座敷は移築前のまま活用し、2階の板の間を洋室に変えて、そこが天井の高いリビング兼ベッドルームになっています。

『石田屋』さんのお布団に出合ってから、ああ、こんなに寝心地が違うんだって実感して。それからですね。宿にとって、ゆっくりと休んでいただくことの大切さを痛感し、そのために、お布団がとても重要なんだと考えるようになったのは」と滝沢さん。長く愛され続ける心地よい空間とまでなしを志し、自然と共にある『三水館』だからこそ『石田屋』と深く共振共鳴し繋がったのは必然といえるのかもしれない。



a. 設計士さんから提案があり一目見て移築を決めた蔵。1階はそのまま利用して、2階をリノベーション。まるで別荘のようにプライベート感覚で利用できる。b. 天井の梁がなんとも重厚で見事。ベッドにはすべて『石田屋』の寝具が使われている。c. 1階の和座敷。細部にも意匠が凝らされている。





a. 生けられた野花は館内でも愛でることができる。
b. 庭のあちこちにさりげなく咲いている野花。その
美しさは思わずしばし見とれてしまうほど。c. 日本
家屋の美しさを存分に堪能することができる宿。障
子から差し込むやわらかな光に身も心も癒される。



誠実な仕事ぶりに魅せられ、
何度も足を運びたくなる。

カタクリ、ムスカリ、アツモリソ
ウ、ガマズミ、キキョウ。宿のイン
スタグラムを拝見すると、庭に咲く
季節の野花がアップされています。
また、館内に生けられている花々も、
ご主人が庭から摘んできたものがほ
とんどだそうです。こうした自然と寄
り添う生き方、暮らしづくりが、その
まま宿の雰囲気になわれていること
を改めて思い知らされます。

最後に、長年やってこられて、自
分が理想とする宿のかたちになっ
てきましたかと尋ねてみると「いた
らないことばかりで。そのいたら
なさが悲しくて、もうちょっとマシ

大人気!『三水館』で使われている『石田屋』の寝具



床敷きでもベッドでも使える「畳めるマットレス」

『三水館』に泊まれた方が「ぐっすり眠れたから同じものを」とお尋ねになるのがこのセット。通常の敷布団を単体で使用するより、身体の曲線を自然に受け止め、体重を分散して汗による蒸れを逃がし、リラックスな眠りへと誘います。



ウールベッドパッド(シングルサイズ/厚手タイプ) 40,000円
マットレスや敷布団に重ねることで寝姿勢を改善します。

バランスプロファイル敷布団(シングルサイズ) 38,000円
軽くて人気。3層構造で厚みもあり底つき感也没有。

ふとんエレメント(シングルサイズのみ) 97,000円
そのしなりと弾力で寝姿勢を理想の状態に保ちます。

※価格は全て税別です。



鹿教湯温泉 三水館

長野県上田市西内1866-2

☎0268-44-2731

1泊2食16,350円～19,590円

※蔵は1泊2食17,340円～27,150円

チェックイン14:00～

チェックアウト10:30

<http://sansuikan.info>

りたいといつも思っているんです」と意外な言葉が返ってきました。現状に決して満足をせず、どこまでも謙虚に、お客さんにリラックスして喜んでもらうために、日々コツコツと努力を積み重ねていく。『三水館』に遠方から足を運ぶお客さんが後を絶たず、何度もリピートするのは、その「誠実さ」に魅せられるからに違いありません。金沢から上田まで車で約3時間半。一度、足を運んでみてはいかがでしょうか。

暗闇のソーシャルエンターテインメント
ダイアログ・イン・ザ・ダーク



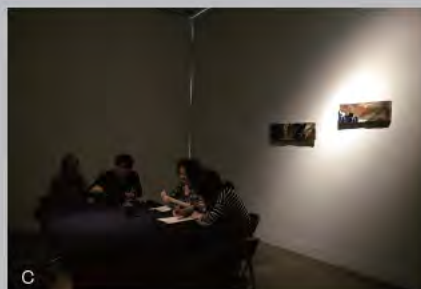
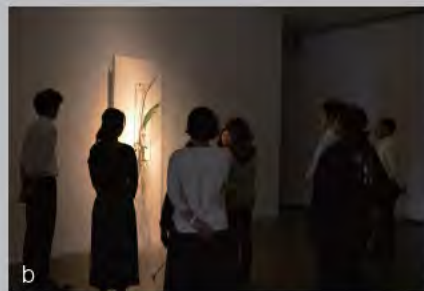
東アジア文化都市2018金沢市民連携特別事業の一環として、この秋、北陸で初開催された「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」。『石田屋』が特別協賛したこの催しは、1988年、ドイツの哲学博士アンドレアス・ハイネッケの発案によって生まれ、これまで世界41カ国で800万人を超える人々が体験している「暗闇のソーシャル・エンターテインメント」です。参加者は完全に光が遮断された空間の中へグループを組んで入り、暗闇のエキスパートである視覚障がい者のアテンンドによって、中を探索し、様々なシーンを体験していく。北陸初開催の今回は、金沢の伝統工芸に触れることで、今も息づく日本文化の新たな魅力を発見し、より深く感じるオリジナルコンテンツが用意されました。

「私はここにいます」

「あなたはどこにいますか？」

暗闇（自らの固定観念、既成概念を外しニュートラルな環境）の中で人と人が協力し、助け合い、対話をする。そうした過程の中で、参加者は、視覚以外の感覚の様々な可能性と心地よさに気づき、コミュニケーションの大切さ、人のあたたかさを

a.北陸初開催の会場となったのは『金沢21世紀美術館』。本プロジェクトは、金沢市のほか、『一般社団法人ユニバーサルデザインいしかわ』とも共催で開催された。b.参加者は事前にレクチャーを受けてから暗闇の世界へ。暗闇の中では視覚障害者用の「白杖」を持ち、コミュニケーションをとりながら進む。c.体験を終えたあとは参加者同士で感想を述べ合う。そこにも様々な発見がある。



ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン
 【Tokyo Diversity Lab.】
 ☎03-6231-1633
 (10時~18時/月~金)
<http://www.dialoginthedark.com>

改めて思い出すことができます。
 『石田屋』は、天然素材の寝具と睡眠環境を通し、心と身体がくつろぎ、その日の疲れを、癒すことでリセットできると考えています。毎日の「心地よい」を感じる、やすらぎと上質な世界。その上質な快適さは、五感をフルに使って知覚するものであり、そのためには、身体の声に耳をかたむけ、気付づかないうちに動いてゆく自然と調和し、寄り添い、おおらかに受け入れることが大切。感覚と人の繋がりがやあたたかさを再発見する「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」は、『石田屋』の考え方、理念と強く共鳴するものでした。
 「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」は現在、東京と大阪で体験が可能。詳しくはHPをご覧ください。

ギャッベのはなし

Vol.01 モノの選び方

岡野 徹(石田屋)



皆さんがものを選ぶとき、どんな基準がありますか？ 僕が一番大切にしているのは、第一印象、ファースト・インプレッションです。特に、高価なモノほど後悔をしたくないので、自分の心に正直に決めるようにしています。自分がギャッベを最初にしたときもそうです。とても悩みはしましたが「目の前のギャッベは世界にこの1枚しかないなら、第一印象で良いと思ったものを」と一番に心が動いたギャッベを選びました。

ギャッベと出会うまでは、なかなか自分の心に正直になれず、どちらかというと失敗しないような消極的なモノの選び方をしていたのですが、ギャッベと出会ってからは、モノの選び方がどんどん変わっていきました。

例えばある日、古道具屋さんで、ある机と椅子に心が動いてしまった時のこと。「他の家具はギャッベに合せて選ぼう」と思っていたのですが、それでも「ギャッベは心のままに決めて、それでとても気に入っているから」と、机も椅子も、部屋に合う・合わないよりも、自分の感覚を優先して購入しました。これが思いの外、ギャッベや部屋の雰囲気に合っていたのです。

自分が心で決めたモノ同士、自分の世界観で選んだモノ同士なら、自然と統一されるんですね。それからモノを選ぶときは、余計なことを考えず、自分の心が動いたモノを選んでいくようになっていきました。そして、だんだん気に入ったものだけが部屋に集まってくると、生活がとても楽しくなってきたのです。僕はよく部屋を模様替えるのですが、心で決めたものが揃った部屋は、場所を変えるだけでモノがさらに生きてきます。そうすると「どうやって配置しよう？」と、模様替えもまた、楽しくなってくるのです。

「赤だから暑そう」、「青だから寒そう」というのは、色の名前という固定概念にとらわれているのかなと僕は思います。色の名前なんて、結局は誰かが後付けしたものですし、同じ赤でも、化学染料と天然染料ではまた別物です。

固定概念にとらわれず、見て触れて感じたまま、自分の心で選んだモノの集合体がオリジナリティであり、そして、そのモノが家具だとしたら、それが本当の「自分の部屋」なのかもしれません。



活版印刷 ユートピアノ

一つとして同じものではない、
手仕事でつくられる美しい印刷。



ユートピアノ

金沢市東山2-11-25

営／11:00～18:00

<http://www.utopiano-kanazawa.com>

まずはHPから問い合わせを。

名刺やカードを活版印刷で制作する『ユートピアノ』の松永紗耶加さんが、金沢が好きで旅行を重ねるうちにこの街に移住し、その世界に足を踏み入れたのは、ほんの偶然から。美大卒の彼女がグループ展のために一度作品制作をお願いした富山県の小さな印刷屋さんが仕事を辞め、そこで使われていた印刷用の活字が処分されると聞いて、「もったいない」と思うと同時に、悲しみとも、怒りともつかない、居ても立っても居られない気持ちになったことがきっかけだったといいます。以来、印刷所を営むご主人のところに、最初は相手にされないながら何度も通い詰め、活版印刷を教えてもらうこと約半年。その後、ようやく譲り受けた活字で印刷業をスタートさせたのは2012年のことです。

【ねおんの視点】

注文は、名刺やカードに記載する情報を聞き、横組み、縦組み、配置など、デザインを決めるところから開始。ご自宅を兼ねた東山の工房には、松永さんがデザインした見本や、これまで制作した作品も多数ストックされていて、そこで依頼主とイメージをすり合わせていきます。情報量や組版の複雑さにもよりますが、紙代は別に（紙の持ち込みも可）、100枚で7000円からが値段の目安。注文から約1〜2週間で納品となるそうです。

そして、当たり前ですが、そのすべては手作業で、部首ごとに並ぶ活字棚から必要な文字を探し、込（スペース）と組み合わせで版を作り、インクを盛って一枚一枚、手で押しながら印刷が行われます。その一連の流れの中で心がけていることを尋ねると「自分が納得のいくもの、自分がしっくりくるものができるまで妥協しないこと」と松永さん。活版印刷の特長といえる凹凸のある、あの表情豊かな独特の質感は、まさしく松永さんの感覚によって生みだされていくのです。機械で大量に印刷されたものでなく、丁寧な手仕事に



よってつくられる名刺やカードには、
手にするときの、なんともいえない
喜びがあります。

『ユートピアノ』という名前は、映
画好きな松永さんが「なんともジャ
ンル分けのできない、なんにも似て
いない。それでいて、こんなに人を
感動させることができるなんて！」
と感銘を受けた映画「四季・ユート
ピアノ」からとったもの。その名に
は「私が何かを表現するのなら、私
にしかできないものが必ずあるはず
だ」という思いが込められている
そう。お客さんのオーダーに忠実に、
喜んでもらうことを前提としなが
らも、つくられるモノ、そのすべてに
彼女のセンスや、作り手としての矜
持が感じられるのは、どうやらそん
なところに理由がありそうです。

a. ハンドルを握って、一枚一
枚、手で押してプリントしてい
く印刷機。力の入れ具合で凹
凸やインクの濃さが変わる。
b. 印刷後はインクがすれない
ように十分に乾くまで乾燥さ
せる。c. 明朝体や楷書体、大き
さも様々に揃う活字。ないもの
や劣化したものは注文する。

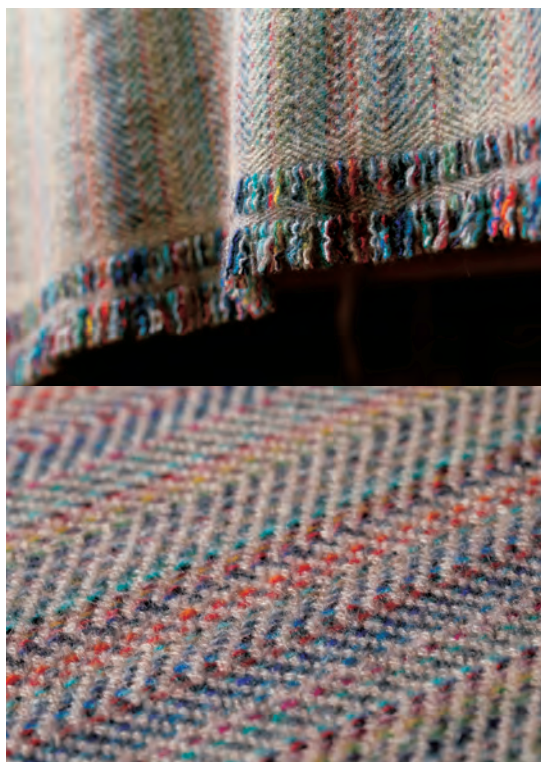




「カシミア」とは、中国・モンゴル・イランなど、厳しい山岳地帯に生息するカシミア山羊の柔毛を原料とした繊維。1頭のカシミア山羊からとれる柔毛は150〜200gで、セーター1枚には約4頭分、コート1枚には約30頭分の原毛が必要。上品な光沢感とその希少価値から「繊維の宝石」と呼ばれています。



カシミア
「宝石」と呼ばれる天然繊維。



マルチカラー（『石田屋』オリジナルデザイン）120,000円

上質なカシミヤのお手入れは、柔らかいブラシで表面の埃をそっと払って、毛並みを揃えるだけでOK。直に身体に使うときは洗濯を。洗濯にはデリケートな素材専用の洗剤を使ってたっぷりの水でよくすすいで陰干しで。



150×180cm 180,000円
150×200cm 200,000円
140×200cm 250,000円

魅力は、何といっても、その手触り。極細の産毛がもたらす陶然とする繊細な柔らかさ、ふんわりと空気をまとう独特の暖かさは繊維の中でも随一。軽くしなやかなため、掛布団と重ねて使用しても寝返りに合わせてズレることがなく、ストレスを感じません。通常、羽根布団と身体の間には毛布をはさむ使い方は暖かさが落ちるためおすすめしていませんが、カシミヤは別。抜群のフィット感で身体の内熱を含み、しっかりと羽毛に伝えてくれるので非常に暖かで、掛布団の上にも中にも、どちらにも使えるアイテムです。

さらに、実は夏にも使えるカシミヤ。湿度を一定にコントロールするので、湿度が高い夏にもってこい。エアコンをつけた寝室では、冷氣から身体が守られ、一枚かけると、心地よいほんのりとした温もりが身体を包み込みます。体温差のある夫婦が同室で寝る際も、体温調節に使うことで、エアコン使用による互いのストレスを解消し、おやすみいただけます。

一年中使えるので1枚持っているだけで重宝。他にはないリッチ感に包まれる幸福を実感できます。日常の中にそんな上質なカシミヤを取り入れてみませんか。

※価格は全て税別です。



自然の力で健康と美を手に入れる

発酵食のススメ

世界有数の発酵大国である日本。近年、発酵食が持つパワーに注目が集まり、菌を積極的に取り入れる「菌活」が話題になっています。健康と美に効果が期待できる発酵食に改めて目を向けてみませんか。

そもそも発酵食品とはなにか？

私たちの身近にある食べ物には「発酵」というプロセスを経てつくられるものが数多くあります。その歴史は古く、例えば、ヨーグルトは人類が牧畜を始めた紀元前5千年頃までさかのぼることができ、日本でも奈良時代には瓜を塩漬けにして食し、平安時代にはすでに野菜を酒粕や酢に漬けて食べていたという記録が残っています。

そんな世界各国で古くから伝えられてきた「発酵」を、学術的に定義するなら「微生物が人間にとって有益な物質を作り出すこと」となり、一般的には「カビ」、「酵母」、「細菌」の三大微生物が「発酵」を司るといわれています。

日本酒や米酢、味噌、甘酒、味噌など利用される「カビ」、パン、ワイン、ビールの製造には欠かせない「酵母」、ヨーグルトやチーズ、糠漬け、キムチに使われる「細菌」。これらの食品はすべて、そんな微生物の自然な働きによって、元々なかった味わいや風味豊かな香りが生みだされ、栄養成分豊かな「発酵食」へと変化しているのです。

《身近にある発酵食あれこれ》



日本酒

米を原料に麴を使って醸造する酒。麴と酵母の働きが同時に進行する「並行複発酵」によってアルコールの度数は高くなる。

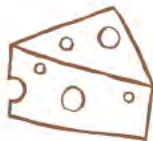
パン(天然酵母)

パン作りに欠かせない酵母。天然酵母のパンは、発酵に手間も時間もかかるが、小麦粉本来の風味や香味、旨みを味わえる。



チーズ

発酵乳製品の代表格であり、老若男女問わず人気のある発酵食。歴史も古く世界には数千種類ものチーズが存在している。



その他の発酵食品

キムチ、納豆、塩辛、漬物、ザワークラウト、醤油、味噌、味噌、ヨーグルト、ワイン、ビール、甘酒、マッコリなど。



発酵食の健康効果と美容効果。

発酵食には、保存性が高まり、食材をより一層美味しくしてくれるという効果もありますが、さらに、その他の嬉しい効果として期待したいのが、その「健康効果」と「美容効果」です。

まず一つ目が、身体の免疫力を高めてくれること。免疫力を司る腸内環境改善に作用する善玉菌を多く含んでいる発酵食は、腸内の善玉菌の数を増やす結果、悪玉菌を制御。最近の研究では、腸が食べ物を消化したり吸収したりする器官であると同時に、実は大切な免疫器官であるとわかっており、風邪やウイルスの感染予防、花粉症などのアレルギー対策としてもその効果が期待されています。また、二つ目は、アンチエイジング効果で、発酵食に含まれるビタミンC、カロチン、フラボノイドは体内吸収率が高く、体の抗酸化作用がパワーアップします。そして、最後に三つ目がデトックス効果で、発酵食に含まれる酵素が腸内の消化活動を促進して悪玉菌をつくる宿便を排出し、さらには、乳酸菌が腸内の環境を整えてくれます。

《発酵食の嬉しい効果》

免疫力アップ効果

味噌や醤油、酢といった伝統的な発酵食に加え、チーズやヨーグルトも含めた発酵食品の特長は、腸内環境を整える善玉菌をたくさん含むこと。腸内環境が良くなると免疫力がアップするといわれている。

アンチエイジング効果

野菜や果物などに含まれる抗酸化作用物質は消化吸収しにくいのが難点。発酵食に含まれる成分には、抗酸化作用物質を吸収しやすいかたちに変える働きもあり効果的にアンチエイジングを叶えてくれる。

デトックス効果

発酵食に含まれる酵素には毒素を排出する効果も有。老廃物を流すことで、腸内環境が整い、便秘解消はもちろん美肌効果もあらわれる。日々の食生活に発酵食を取り入れながら気軽にデトックスを実現。



発酵王国・石川の伝統の発酵食。

ときに「発酵王国」と称される石川県。

その高い湿度と冬の寒さは、まさに「発酵」に適した環境といえ、また、良質な水と、発酵食には欠かせない麴や糠の原料となる米が豊富に生産されるという土地柄もあって、当地では古より独自の発酵文化が育まれてきました。

まず、代表格といえるのが「かぶら寿し」で、食通として知られる作家・吉田健一が自著『私の食物誌』の中で「蕪と鰯を麴でつけたのがどうしてこんなに旨いのか解らない」と書いたほど。

また、郷土料理はもちろん、刺身や煮物の隠し味にも使われる、奥能登に古くから伝わる魚醬、内浦地区の真イカを使った「いしり」、外浦地区の鰯や鯖を主原料とした「いしる」も全国的に人気。長い冬を越すための貴重なタンパク源にと生まれた保存食「こんか漬け」も実に多彩な種類が揃っています。

そんな、健康にも美容にも良い、気候風土と先人の知恵が生きた豊かな発酵食に、この冬、改めて目を向けてみてはいかがでしょうか。

《石川県ならではの発酵食》

かぶら寿し



蕪の間に鰯を挟みこみ、麴で漬けた金沢の冬の味覚。乳酸発酵によるまろやかな味わいが魅力の石川を代表する発酵食。

いしり

秋田のしょつつる、香川のいかなご醤油と並ぶ、日本三大魚醤のうちのひとつ。鍋や干物、魚貝焼きや漬物などその用途は様々。



こんか漬け



いわゆる魚の糠漬け。かつては全国でつくられていたが、生産地が激減し、今や北陸の特産品に。福井県では「へしこ」と呼ぶ。

その他、多くの酒蔵が醸造する日本酒や五大産地といわれた大野の醤油など石川県には発酵文化が根付いている。

写真提供: 金沢市



写真提供: 石川県観光連盟



『石田屋』のオリジナル羽毛布団

「グース（ガチョウ）」or「アイダーダック」

あなたはどちらを選びますか？



左／グースダウン掛け布団、右／アイダーダックダウン掛け布団

手足がほかほか、すぐに暖まる。それでいてムレない。すぐに体温がダウンに伝わり、あたたかい。また、超軽量でエアリーなのにフィット性があり睡眠中の寝返りでもずり落ちる心配がない。『石田屋』のオリジナル羽毛掛け布団はそんな理想的な掛け布団です。

その『石田屋オリジナル羽毛掛け布団』に使われているダウンには、「グース（ガチョウ）」と「アイダーダック」の大きく分けて2種類があります。羽毛とひとくちに言っても、種類によって暖かさの感覚は異なります。さて、あなたはどちらがお好みでしょうか？

『石田屋』のオリジナル羽毛布団は、どちらも生産過程から収穫、原毛として出荷されるまで、徹底管理されているダウンだから、優れた保温力を発揮し安心して長く愛用いただけます。

さらに、部屋の暖かさ、寒がり暑がりといった体質に合わせて、中綿のグラム数も100g単位で選ぶことができます。使う人にとって「一番気持ちよいあたたかさ」の羽毛布団が作れますのでぜひお気軽にご相談ください。

北極圏に住む

《アイダーダックダウン羽毛掛布団》

抱卵する母鳥の胸から落ちた母性本能たっぷりのダウンは、ぽってりと身体にくっついてくる感触。お母さんに抱っこされているかのような安心感に包まれます。一方、保温力は自然界で最強。厳しい自然の中で卵を孵すほどの抜群の保温力と放湿能力で、暑さも寒さも共に過ぎることのない「丁度いい」を実現します。

ダウンの繊維がしっかりと絡むため嵩が低く、パワーがあって、空気をたっぷり含むため、熱を逃がしません。手で持ち上げると塊となるくらい、手の平で弾む絡みの強さが、厳しい寒さでも母鳥の体温だけで雛を孵せるほどの保温力を生むのです。



保温力は自然界最強。お母さんに抱っこされるような安心感です。



緑の大地で育つ

《グース(ガチョウ)ダウン羽毛掛布団》

身体にのっていることを忘れてしまうくらいの軽さ。蒸れないため、さらりとして、春のひだまりのような、ふんわりとした暖かい空気を、身体にまとうことができます。そんな暖かさが欲しい方には、グースダウンを使った羽毛布団がおすすめ。

素材には、健康なグース(ガチョウ)から取れるダウンを使っています。ダウンボールは歪みがなく放射状に伸び、均一な円形を保つ、大きくて強い健康的なグースのダウンです。このクオリティーがあるから、超軽量の生地を使用することができ、グラム数が少ないのに、とてもあたたかい羽毛布団ができあがるのです。



びっくりするくらいの軽さで暖かさを叶えるハイクオリティー！

〈編集後記〉

師走の慌ただしい中、冬が来る前に〜トリ 恒例のママさんダンブ、スコップ、除雪車、雪囲い、スタッドレスタイヤ、スノーブラシ等、何かと大雪が来る前に用意周到、準備するものが頭をよぎります。平成最後の冬、皆さまも佳き年を迎えられますように。

田中和昭

感覚とは、自分だけが分かり判断できるもの。数字では計れない、感覚の塩梅。妥協せず心の声に向かい合うことで生まれる、幸せな生活の礎を大切にしたいと思います。

八木勢津子

寒くなると2月の大雪を思い出しますね…。毎日雪かきしてヘトヘトになり、帰ったときに待っているのは自分が選んだモノたち。そんな状態でも癒してくれるモノを描えていきたい。

岡野 徹

ダイアログ・イン・ザ・ダーク。暗闇の中で感じたのは「目に見えることで気づかないことが山のようにある」ということでした。五感を研ぎ澄ませれば、人生がもっと豊かになるはず!

愛山達也

出会いとは不思議なものだ。いつも気になっている人やモノにちゃんと巡りあえることになっている様に見える。人はそうした物事のみしか目や耳に入らないように造られているのだろう。そして、そんな人たちとも必然に出逢う。今までもこれからずっとそうだろうと思っている。

田中佳美

次号／

「眠音 vol.49 2019 春号」は
3月発刊予定です

石田屋イベントスケジュール

gamadan／ガマダン

X'masディナーコンサート

12月15日(土)

出演:藤井幹人(トランペット)

藤井ひろみ(ソプラノ・フルート)

美人になる着付け

講師:田中美咲

12月26日・2019年1月23日・2月27日

午前・午後・夜の部 全6回コース

福野桂子ランチコンサート

2019年1月14日(月・祝)

11:30～12:30演奏会

12:30～お食事

出演:福野桂子(チェロ)

大宅みどり(ピアノ)

gamadan LUNCH & SPECIAL 睡眠診断

月・水～金 11:00～15:00

1日1組限定

犀川店

リラックスエステ「頭のコリ&脳の疲れを改善」

12月2日(日)

足型健康チェック

12月7日(金)～12月9日(日)

ブリストイン ウィンターフェア

期間中20,000円(税別)以上購入で
ノベルティプレゼント

12月14日(金)～12月23日(日)

石田屋さん家でくるみど展 in 金沢

2019年2月1日(金)～28日(木)

和座店

足型健康チェック アーチサポートインソール体験

12月7日(金)～12月9日(日)



ISHITAYA

gamadan／ガマダン

金沢市高尾3-4-1
☎076-298-4800
11:00～19:00
火曜定休

犀川店

金沢市清川町1-1
☎076-280-4800
11:00～19:00
火曜定休

和座店

能美市大成町1-56
☎0761-55-3737
10:00～19:00
不定休

『石田屋』冬季休暇 12月30日(日)～2019年1月3日(木)

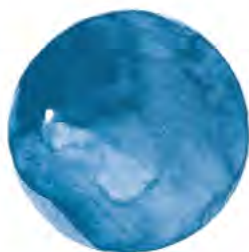
眠音

ねおん

Vol.48
Winter

2018年12月1日発行 編集発行人／田中佳美 発行／(株)石田屋 〒921-8152 金沢市高尾3-4-1 ☎076-298-4800
本書の全部または一部を無断で複写することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。 © Ishitaya Co., Ltd. <http://www.ishitaya.com> Printed in Japan 定価300円

絶版



ISHITAYA

www.ishitaya.com